

子宮頸部非扁平上皮癌における傍大動脈リンパ節郭清の意義について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

術前の画像評価でリンパ節腫大を認めない子宮頸癌でも、傍大動脈リンパ節(PAN)郭清を行うと12%の症例でPAN転移を認めるとされています。当科では子宮頸部非扁平上皮癌に対しては、広汎子宮全摘術の際にPAN郭清も併実施してきました。PAN郭清追加の意義について後方視的に検討いたします。

【対象】

2012年1月から2023年12月までに、子宮頸部非扁平上皮癌に対して広汎子宮全摘術時にPAN郭清を受けた患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

子宮頸部非扁平上皮癌に対して広汎子宮全摘術時に行うPAN郭清追加の意義を検討することを目的とし、電子カルテから通常の医療において取得された診療情報を用い、解析します。

【調査項目】

年齢、診断名、既往歴・併存症、治療成績、合併症

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2012年1月1日 ～ 2023年12月31日

【利用する者の範囲】

関西労災病院 産婦人科 大久保理恵子、堀内僚介、澤本康平、浅井智奈美、山本実咲、下地香乃子、尾上昌世、吉岡恵美、後藤摩耶子、高田友美、堀 謙輔、伊藤公彦

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 産婦人科 大久保理恵子

【研究期間】

実施許可日から 2024 年 6 月 30 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

大久保 理恵子

関西労災病院 産婦人科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail : okubo-rieko@kansaih.johas.go.jp